

復習用スライド

前回の復習

05月23, 30日の講義

前回の課題

- ✓ 高い強度の労働，熟練労働，複雑労働の関連を考察した。
- ✓ 技術革新と，新技術の普及の問題を考察した。
 - ✓ 普及の条件
 - ✓ 資本主義社会の歴史的意義
 - ✓ 資本主義夜会の歴史的限界

同じ時間により多くの価値を生む労働

- 高い強度の労働
 - 労働力の違いではなく、その発揮密度の違い。
- 労働
 - 具体的労働のやり方（形式）が高度・高速・正確
 - 通常はOJTで育成される
- 労働
 - 具体的労働の内容が複雑・多様・高度
 - 通常は特別の育成費が必要

資本主義的メカニズムの意義

- 資本主義社会では、資本主義的なメカニズム、すなわち、市場の原理と資本主義的営利企業との原理とのマッチングによって、新技術は、必ず短期間で する。しかし：

資本主義的メカニズムの限界

- 無駄なしに、ゼロ秒で普及するわけではない。
 - 市場に超過利潤が生じているということ自体が無駄の証である。しかもそれは一定期間続く。
 - 市場のフィードバック機構
 - 最初のイノベータ以外の資本主義的営利企業のリアクション行動
 - リアクションにタイムラグを生じさせるのが資本主義的営利企業による知識の私的所有とともに、

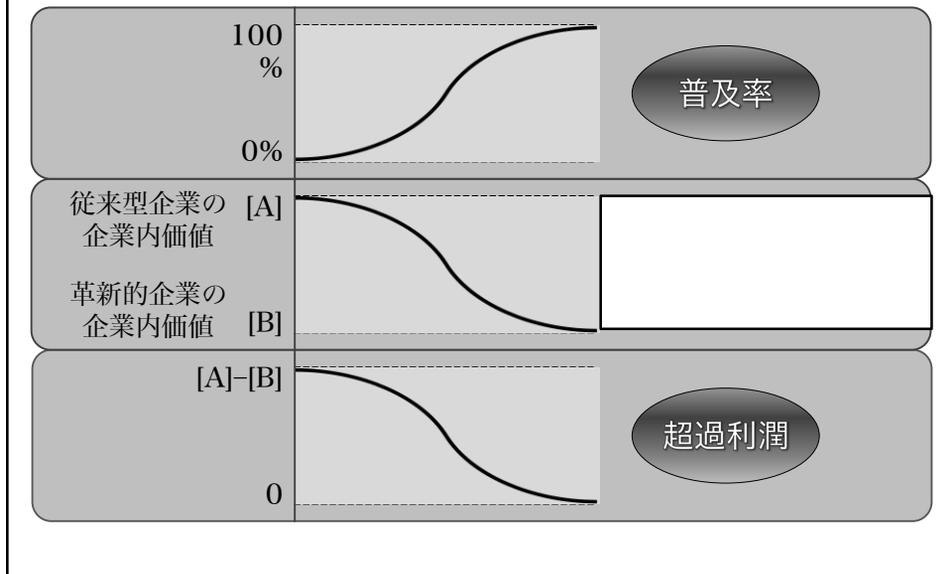
資本主義的営利企業によるリスクと

との私的負担

資本主義的メカニズムの問題

- 社会的な摩擦をともなう。
 - 人間の浪費
 - 機械設備による労働力の置き換えによる失業
 - 過度な競争による労働強化と長時間労働
 - 自然の浪費
 - 過剰生産
 - 回復費用を社会に押し付けての自然破壊
 - イノベーションの連続は、個々の企業の生産力を極端に伸ばすのと同時に、生産力破壊からの回復を社会に押し付ける。

普及率・市場価値・超過利潤



今回の予定

- ◎ 『5. イノベーションの構成要素(1)』をできるところまでやる。
 - ◎ 「調整論：コースとこの講義(1)」(第6ページ)～「調整論：コースとこの講義(2)」(第7ページ)は飛ばす(後日, やる)。
- ◎ 飛ばした部分は試験範囲には含まないし, 後日, Web補講を提供する。

解答

1. 熟練
2. 複雑
3. 普及
4. コスト
5. 市場価値